



DawNote Pro

ユーザーマニュアル

Version 1.0.1

FKFX Audio

DawNote Pro

法的表示および商標

(C) 2026 FKFX Audio. All rights reserved.

DawNote、DawNote Pro、DawNote Studio および DawNote ロゴは、FKFX Audio の商標または商号です。

VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標であり、欧州およびその他の国で登録されています。

AAX および Pro Tools は Avid Technology, Inc. の商標または登録商標です。

Audio Unit、macOS、iOS、Apple、Apple Silicon および GarageBand は Apple Inc. の商標です。

Windows は Microsoft Corporation の商標です。Android は Google LLC の商標です。

本マニュアルに記載されている DAW、オペレーティングシステム、プラグイン形式、その他の製品名は、それぞれの所有者に帰属します。それらの名称は、DawNote との互換性、または DawNote で可能なワークフローを説明する目的でのみ使用されています。

本マニュアルは、発行日時点で利用可能な機能、または予定されている機能を説明しています。一部の機能は、DawNote のバージョン、オペレーティングシステム、使用する DAW、またはネットワーク構成によって異なる場合があります。

マニュアルバージョン: 1.0.1。ブランド: FKFX Audio。製品: DawNote Pro。

明示的な記載がない限り、第三者商標の権利者による提携、承認、認証を意味するものではありません。

目次

1. DawNote とは？
2. クイックスタート
3. モバイルアプリケーションマニュアル
4. プロジェクトの使用
5. DawNote Studio マニュアル
6. DawNote プラグインマニュアル
7. DawNote Studio と DawNote Plugin の INBOX
8. Free 版と Pro 版
9. 対応 DAW
10. 必要環境
11. トラブルシューティング
12. 使用例
13. ノートの管理と再生
14. Send Notes to DAW
15. プロジェクト共有
16. FAQ
17. 推奨ワークフローのまとめ
18. サポート

1. DawNote とは？

DawNote は、ミュージシャン、プロデューサー、作曲家、ミックスエンジニア、アーティストのための、同期されたボイスノートシステムです。

主な目的は、曲を聴きながら記録したメモに、正しい文脈を自動的に与えることです。

通常のメモは、ボイスメモアプリに急いで録音したり、ノートに書いたりしただけでは、後から曖昧になりやすいものです。たとえば次のようなメモです。

“ サビの後で hi-hat をもっと大きくする。 ”

記録した瞬間には明確に思えても、数時間後、または数日後には、次のような疑問が出てくる可能性があります。

- どの曲についてのメモだったのか？
- どのサビのことだったのか？
- 曲の正確などの位置を指していたのか？
- 現在のバージョンへのメモなのか、古いバージョンへのメモなのか？
- その指摘はすでに処理済みなのか？

DawNote は、各ノートを正しいプロジェクト、正しい曲、正しい時間位置に結び付けることで、この問題を避けます。

そのため、すべてのノートには自動的に文脈が付きます。

タイミングを説明したり、該当箇所を探したり、どの曲に対するコメントだったのかを推測したりする必要はありません。

DawNote では、声を使ってメモできます。声は、修正点、アイデア、音楽的な反応を伝えるための、もっとも速く自然な方法であることがよくあります。

文章を書く代わりに、問題やアイデアを聞いたその瞬間に、話す、歌う、鼻歌で示す、ビートボックスする、または修正内容を声で説明できます。

対応する Bluetooth コントロールを使用すると、常に電話を手を持っていなくてもノート録音を開始できます。リラックスして聴いているとき、歩いているとき、ヘッドホンで聴いているとき、車の同乗者として聴いているとき、またはスタジオから離れているときに、ノート作成がより自然になります。

DawNote は、音楽制作の生産性ツールとしても設計されています。

多くのアーティスト、プロデューサー、作曲家には未完成の曲があります。そうした曲には大きな作り直しが必要なのではなく、新しい視点でのリスニング、新鮮なアイデア、いくつかのミックス判断、アレンジの調整、または外部からの意見が必要なだけの場合があります。

DawNote はそのような瞬間のために作られています。

最初の反応の自発性を失わずに、受け身のリスニングを生産的なレビューセッションへ変えることを助けます。

DawNote には以下が含まれます。

- iOS および Android 用 DawNote Mobile
- macOS および Windows 用 DawNote Studio
- VST3 および Audio Unit 形式用 DawNote Plugin

基本的な考え方はシンプルです。

1. ミックスまたはオーディオファイルを電話へ送る。
2. そのファイルをどこでも聴く。
3. アイデアが出た正確な瞬間にボイスノートを録音する。
4. そのノートをコンピューターへ送り返す。
5. DawNote Studio または DawNote プラグインで、同期されたノートをプレビュー、整理し、DAW のタイムラインヘドラッグする。

DawNote はプラグインと一緒に使用することも、DawNote Studio によってプラグインなしで使用することもできます。

2. クイックスタート

基本ワークフロー

1. 電話で DawNote を開きます。

2. プロジェクトを作成するか、既存のプロジェクトを開きます。
3. オーディオトラックを追加するか、コンピューターから受信します。
4. 電話でトラックを聴きます。
5. 再生中にボイスノートを録音します。
6. 各ノートは、曲内の正確な位置に自動的に結び付けられます。
7. ノートをコンピューターへ送り返します。
8. DawNote Studio または DawNote プラグインを開きます。
9. ノートをプレビューします。
10. 同期されたノートを DAW のタイムラインヘドラッグします。

このワークフローにより、自然な反応、ミックス判断、アレンジのアイデア、制作上のコメントを、手作業で時間を記録することなく保存できます。

3. モバイルアプリケーションマニュアル

3.1 プロジェクトを作成する

電話またはタブレットで DawNote アプリを開き、新しいプロジェクトを作成します。

プロジェクトは通常、1つの曲、ミックス、プロダクション、リミックス、デモ、クライアントセッション、または作業中のバージョンに対応します。

プロジェクト内では、オーディオトラックと、それに関連するボイスノートを管理できます。

Free 版では最大 2 プロジェクトまで作成できます。

Pro 版では最大 10 プロジェクトまで作成できます。

3.2 オーディオファイルを追加または受信する

ワークフローに応じて、DawNote へオーディオファイルを追加する方法はいくつかあります。

一般的な例:

- DAW から書き出したミックス
- 参照用オーディオ
- 作業中のバージョン
- DawNote Studio から送信されたファイル
- 電話から直接読み込んだファイル

DawNote は WAV、AIFF、MP3 などの一般的なオーディオ形式に対応しています。

オーディオファイルをプロジェクトに追加したら、再生して同期ボイスノートを録音できます。

3.3 トラックを聴く

プロジェクトを選択し、レビューしたいオーディオトラックを選びます。

トランスポートコントロールを使用して、再生、一時停止、早送り、巻き戻し、ファイル内の移動を行います。

DawNote はモバイルでのリスニングのために設計されています。スタジオから離れて、ヘッドホン、車の中の同乗者として、散歩中、別のリスニング環境など、音楽を新鮮な耳で聴ける状況でレビューできます。

3.4 同期されたボイスノートを録音する

再生中にノート録音ボタンを押すと、ボイスノートを録音できます。

各ノートは、現在の再生位置に自動的に関連付けられます。

そのため、必要がなければノートの中で“1分23秒で”と言う必要はありません。DawNote はそのノートの正確な位置をすでに把握しています。

有用なノートの例:

- “ここはボーカルが大きすぎる。”
- “サビの後でキックのインパクトが弱くなる。”
- “このシンセを切ってみる。”
- “このトランジションは空きすぎている。”
- “この瞬間はうまく機能しているので残す。”
- “ベースをリファレンスと比較する。”
- サビの新しいメロディを歌う。
- カウンターメロディのアイデアを鼻歌で示す。
- 試したいベースラインを声で表現する。
- 2番のヴァース用のメロディ変化を歌う。
- 新しいドラムリズムをビートボックスする。
- キックとスネアのグルーブを声で再現する。
- シンセやギター用のリズムパターンを歌う。
- アレンジを豊かにするための声によるパーカッションアイデアを録音する。

ノートをコンピューターへ送り返すと、その時間配置は保持されます。

3.5 Pocket Mode

Pocket Mode は、ハンズフリー、または画面操作を最小限にした使用のために設計されています。

画面を常に見ずに自然に聴きたい場合に便利です。

使用例:

- 歩く
- ヘッドホンで聴く
- ミックス全体を中断せずにレビューする
- 自然な反応を記録する
- 電話をポケットに入れておく
- 対応する Bluetooth コントロールを使用する

Pocket Mode により、インターフェースではなく音楽に集中できます。

3.6 Bluetooth コントロールと外部コントロール

デバイスとシステムが許可する場合、DawNote は Bluetooth コントロールと一緒に使用できます。

電話をポケットに入れたまま、または画面に触れずに再生やノート録音を操作したい場合に役立ちます。

デバイスと構成によっては、外部コントロールによって再生管理とノート開始が容易になります。

3.7 ノートをコンピューターへ送り返す

ノートを録音した後、DawNote の転送システムでコンピューターへ送り返すことができます。

転送はローカル Wi-Fi で行われます。電話とコンピューターは同じローカルネットワークに接続されている必要があります。

転送が完了すると、ノートは DawNote Studio または DawNote プラグインで利用できます。

ノートは元の曲内位置と同期したまま保持されます。

3.8 プロジェクトとノート进行管理する

DawNote は、プロジェクト単位、その中のオーディオトラック単位で作業を整理します。

バージョンに応じて、複数のプロジェクト、プロジェクトごとの複数トラック、より長いファイルを管理できます。

Pro 版では、より大きな容量と高度な管理オプションが提供されます。

4. プロジェクトの使用

プロジェクトは DawNote の整理の基本です。

プロジェクトは、曲、ミックス、クライアントセッション、アルバム、作業中のバージョン、または聴いてコメントし修正したい任意のオーディオトラック群に対応できます。

各プロジェクトには、1つまたは複数のオーディオトラックと、それらのトラックに関連するボイスノートが含まれます。

4.1 プロジェクトに表示される3つの数字

プロジェクト一覧では、DawNote は各プロジェクトに重要な3つの数字を表示します。

これらの数字により、プロジェクトの状態を素早く理解できます。

- プロジェクト内のトラック数
- すでにコンピューターへ送信され、参照として保持されているノート数
- まだコンピューターへ送信する必要があるノート数

すでに送信され参照として保持されているノートはグレー表示されます。

まだ送信するノートはアクティブなままで、次回コンピューターへ送信する際に含まれます。

この情報により、次のことが素早く分かります。

- まだ送信すべきノートがあるプロジェクト
- すでにレビュー済みのプロジェクト
- 処理すべき新しいノートがもうないプロジェクト
- 参照ノートだけを保持しているプロジェクト

プロジェクトに送信すべきノートが残っていない場合、そのレビューはすでに処理済みであるか、有用なノートがすべてコンピューターへ送信済みであることを示す場合があります。

4.2 プロジェクトメニューを開く

プロジェクトを長押しすると、プロジェクトメニューを表示できます。

このメニューから、プロジェクト管理の主な機能にアクセスできます。

プロジェクトとその状態に応じて、次のような操作ができます。

- プロジェクトを複製する
- プロジェクトを削除する
- プロジェクトをリセットする
- プロジェクトの色を選択する
- プロジェクト色に関連付けられたタグを編集する

このメニューにより、複数の画面を移動せずにプロジェクトを整理できます。

4.3 プロジェクトを複製する

複製機能は、既存プロジェクトのコピーを作成します。

変更前の作業状態を残したい場合、プロジェクトの別バージョンを準備したい場合、または別のレビュー用に分けたい場合に便利です。

たとえば、新しいノートセッションの前にプロジェクトを複製して、以前の状態を保持できます。

4.4 プロジェクトを削除またはリセットする

プロジェクトメニューでは、プロジェクトの削除またはリセットも行えます。

削除は対象プロジェクトを削除します。

リセットは、アプリ内で利用可能なオプションに応じて、より整理された状態からやり直すために使用します。

削除またはリセットする前に、そのプロジェクトのオーディオトラックやノートが不要であることを確認してください。

4.5 プロジェクトの色

各プロジェクトには色を付けられます。

色は、プロジェクトを視覚的に整理するための目印として使えます。

たとえば、次のような区別に使えます。

- 進行中のプロジェクト
- 完了したプロジェクト
- クライアントプロジェクト
- 個人プロジェクト
- 特定の場所で聴いたレビュー
- 緊急の修正
- 後で再検討するアイデア

色は単なる見た目ではありません。タグと関連付けることもできます。

4.6 色タグ

DawNote では、特定のプロジェクト色に単語を関連付けられます。

この機能は、プロジェクトメニューの “Edit Tag” オプションから利用できます。

“Edit Tag” メニューは、プロジェクト色に単語を関連付けるウィンドウを開きます。

たとえば、緑色に “Forest” という単語を関連付けることができます。

その後、森でノートを取るために緑色をプロジェクトに選択した場合、そのプロジェクトで取ったノートは “Forest” タグに関連付けられます。

この仕組みにより、自分の作業習慣に基づいた個人的な整理方法を作れます。

例:

- 緑: Forest
- 青: Studio
- 赤: Urgent
- 黄: Ideas
- 紫: Client
- 灰: Archive

これらのタグは、後で DawNote プラグイン内でノートを探しやすくするために使用できます。

たとえば、森で取ったノートが “Forest” タグに関連付けられていれば、プラグインでそのタグを検索して簡単に見つけられます。

4.7 なぜタグを使うのか？

タグを使うと、文脈、色、レビューの種類によってノートを探せます。

次のように、DawNote を複数の状況で使用する場合に便利です。

- スタジオで取ったノート
- 車で取ったノート
- 屋外で取ったノート
- クライアントのノート
- アレンジのノート
- ミックスのノート
- すばやいアイデア
- 緊急の修正

タグは、プロジェクトとオーディオトラックだけでは足りない場合に、追加の整理レイヤーを提供します。

多くのプロジェクトを扱う場合、または多数のノートをプラグインへ送信する場合に特に便利です。

5. DawNote Studio マニュアル

5.1 DawNote Studio とは？

DawNote Studio は macOS と Windows 用のスタンドアロンアプリケーションです。

主な役割は、ローカル Wi-Fi ネットワーク経由で、ミックスを準備して DawNote モバイルアプリへ送ることです。

オーディオファイルを DawNote Studio ヘドロップできます。アプリケーションは対応するプロジェクトを作成し、電話またはタブレットへ転送します。これにより、スタジオから離れた場所で聴き、同期ボイスノートを録音できます。

DawNote Studio は、モバイルアプリから返送されたノートを受信し、整理し、DAW ヘドラッグするためにも使用できます。

特に次の場合に便利です。

- ミックスを素早く電話へ送りたい
- AAX 版がまだ開発中の間に Pro Tools を使用している
- スタンドアロンアプリで作業したい
- 使用中の DAW が DawNote プラグイン形式に対応していない
- 同期ノートを手動で任意の互換 DAW ヘドラッグしたい

DawNote Studio と異なり、DawNote プラグインは主に、モバイルアプリから来たノートを DAW 内で受信、プレビュー、使用するためのものです。

5.2 DawNote Studio を使うタイミング

ミックスをモバイルデバイスへ送りたい場合、またはプラグインに依存せず DawNote ワークフローを使いたい場合に DawNote Studio を使用します。

例:

- ミックスからモバイルプロジェクトを素早く作成したい
- 1曲の複数バージョンを電話へ送りたい
- Pro Tools で作業している
- 電話からノートを受信して手動で DAW ヘドラッグしたい
- 作業中に DawNote Studio をデスクトップ上で開いておきたい
- プラグインを挿入せずにプロジェクトを管理したい
- ミックス、モバイルデバイス、DAW タイムラインの間にシンプルな橋渡しが欲しい

DawNote Studio は、コンピューターとモバイルアプリの間の転送センターです。ミックスをモバイルへ送り、同期ボイスノートを回収して制作環境へ戻す役割を持ちます。

5.3 バックグラウンド動作と通知領域

DawNote Studio は、作業スペースを邪魔せず常に利用可能であるように設計されています。

DawNote Studio のメインウィンドウを閉じて、アプリケーションは完全には終了しません。Windows では System Tray、macOS ではメニューバーに自動的に移動します。

この状態でも DawNote Studio は次の処理を続けます。

- ローカルネットワーク上のモバイルアプリの存在を監視する
- モバイルデバイスから送信されたノートを自動的に受信する
- 転送または操作が必要なときに再びアクティブになる
- 同じコンピューター上で開いている1つまたは複数の DAW 内の DawNote プラグインと通信する

Tray モードは、コンピューター資源への影響が最小になるように最適化されています。待機中の CPU 使用率は非常に低く、アプリケーションは基本的に非アクティブで、新しいノートの受信、転送開始、またはユーザー操作が必要なときだけ動作します。

この動作により、ウィンドウを常に開いたままにしなくても、モバイル、DawNote Studio、プラグインの接続を維持できます。

5.4 DawNote Studio を完全に終了する

DawNote Studio のウィンドウを閉じて、アプリは終了しません。Tray に移動してバックグラウンドで動作を続けます。

完全に終了するには:

- Windows: 通知領域の DawNote アイコンを右クリックし、“Quit”を選択します。
- macOS: DawNote アイコンを右クリックして“Quit”を選択するか、DawNote Studio がアクティブな状態で CMD+Q を使用します。

Windows では、DawNote アイコンのメニューから“Quit”を選ぶことが、アプリを完全に閉じるために必要です。

5.5 モバイルアプリから ノートを受信する

コンピューターで DawNote Studio を開きます。

電話とコンピューターが同じローカル Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。

モバイルアプリからプロジェクトまたはノートをコンピューターへ送信します。

受信が完了すると、ノートは同期情報とともに DawNote Studio に表示されます。

その後、ノートを整理し、DAW へドラッグできます。

5.6 DawNote Studio での ノート管理

DawNote Studio では、DAW で使用する前に、モバイルアプリから受信したボイスノートを受信、整理、準備できます。

モバイルアプリから届いたノートを確認し、セッションへドラッグ&ドロップする準備を行えます。

ノートのプレビュー再生機能は DawNote プラグインでのみ利用できます。DAW へ配置する前にノートを聴きたい場合は、対応 DAW 内でプラグインを使用してください。

5.7 同期ノートを DAW へドラッグする

ノートを受信した後、DawNote Studio から同期されたノートオーディオを DAW へドラッグできます。

ノートはオーディオとしてタイムラインに配置できます。

実用的には、DAW に “ DawNote Notes ” のような専用オーディオトラックを作成し、そこへ同期ノートファイルをドラッグします。

これにより、曲に直接整列したボイスコメントトラックが得られます。

5.8 Pro Tools で DawNote Studio を使用する

AAX サポートは現在開発中です。

AAX 版が提供されるまで、Pro Tools ユーザーは DawNote Studio を使用できます。

Pro Tools での推奨ワークフロー:

1. Pro Tools からミックスを書き出す、または準備する。
2. それを DawNote Mobile へ送る。
3. 電話で同期ボイスノートを録音する。
4. ノートを DawNote Studio へ送り返す。
5. DawNote Studio から同期ノートオーディオを Pro Tools へドラッグする。

これにより、AAX プラグインがなくても Pro Tools ユーザーは DawNote ワークフローを利用できます。

5.9 Studio Stream (Pro)

Studio Stream は Pro 版でのみ利用できる機能です。

主な目的は、自分の通常のスタジオ環境、または DawNote Studio が入っている他のスタジオで、DawNote を直接使用できるようにすることです。

通常のモバイルワークフローと異なり、Studio Stream ではスタジオのリスニング環境を使用できます。精密モニター、音響処理、モニターコントローラー、スタジオヘッドホンなどを使用しながら、ノートの録音は DawNote Mobile で行います。

この方法は、可能な限り良い条件でクリティカルリスニングを行い、再生中に正確なコメントを記録したい場合に特に有用です。

一般的なワークフロー:

1. スタジオのコンピューターに DawNote Studio をインストールして開く。
2. モバイルデバイスを DawNote Studio に接続する。
3. 聴きたいプロジェクトまたはセッションを読み込む。
4. スタジオ側から再生を開始する。
5. スタジオのスピーカーまたは利用可能なリスニングシステムでプロジェクトを聴く。
6. 再生中に DawNote Mobile でボイスノートを録音する。
7. ノートはプロジェクトと同期される。
8. その後、ノートをコンピューターへ送り返すことができる。

Studio Stream が特に適している状況:

- 自分のスタジオでノートを取る
- 精密スピーカーでクリティカルに聴く
- DawNote Studio を備えた外部スタジオで作業する
- ミキシングまたはマスタリングセッション
- クライアントまたは共同作者とのレビュー
- 納品前の品質確認

Studio Stream の主な利点は、プロフェッショナルなリスニング環境を活用しながら、DawNote の素早く快適なノート作成を維持できることです。

セッションで使うコンピューターに DawNote Studio をインストールするだけで、どのスタジオでも自分のノート作成ワークフローを再現できます。

5.10 A/B References (Pro)

A/B References は Pro 版でのみ利用できる機能です。

曲、ミックス、マスター、またはプロジェクトのバージョンをリスニング中に素早く比較するために、再利用可能なオーディオリファレンスを作成して保持できます。

リファレンスになり得るもの:

- 音が好きな市販曲
- 自分のミックスの古いバージョン
- 同じプロジェクトの別バージョン
- クライアントや共同作業から送られたエクスポート
- ミキシング、アレンジ、制作の音響目標
- アルバム全体の以前のバージョン

リファレンスの作成

リファレンスを作成するには、まずリファレンスとして使いたいすべての曲を1つのプロジェクトに読み込みます。

曲を読み込んだら:

1. プロジェクトメニューを開きます。
2. “ Create Ref A ” または “ Create Ref B ” を選択します。
3. そのプロジェクトの曲が永続的なリファレンスとして保存されます。
4. リファレンス作成後、必要であれば元のプロジェクトを削除できます。
5. 曲は Ref A または Ref B に残り、他のプロジェクトで再利用できます。

この方法により、作成に使ったプロジェクトを保持しなくてもリファレンスライブラリを構築できます。

リファレンスをリセットする

既存のリファレンスを新しい曲の選択で置き換えたい場合、対応するリファレンスをリセットできます。

手順:

1. プロジェクトメニューに戻ります。
2. “ Initialize Ref A ” または “ Initialize Ref B ” を選択します。
3. 選択したリファレンスがリセットされます。
4. その後、別のプロジェクトまたは別の曲選択で “ Create Ref A ” または “ Create Ref B ” を再度使用できます。

この機能は、リファレンスを更新したい場合、またはリファレンス枠を別のプロジェクトに再利用したい場合に便利です。

リスニング中の使用

曲の再生中:

1. プロジェクトの再生を開始します。
2. “ A ” または “ B ” を押して、対応するリファレンスへ即座に切り替えます。
3. 2つの再生を比較し、重要な違いを特定します。
4. 修正または改善すべき要素に気付いたら、ボイスノートを録音します。

比較をやすくするため、インターフェース左側にある “ = ” 記号のセクションも使用します。

この機能では、リファレンス曲の再生位置をずらし、2曲の対応するセクションを揃えやすくできます。たとえば:

- ヴァース対ヴァース
- サビ対サビ
- イントロ対イントロ

- アウトロ対アウトロ

再生中に A/B References を隠す

セッション中に A/B References が不要な場合、コントロールを隠してインターフェースをすっきりさせることができます。

手順:

1. “PLAY+REC” のコンテキストメニューを開きます。
2. “Advanced Options” セクションへ移動します。
3. “Show A/B References” オプションを無効にします。

A/B リファレンスのボタンとコントロールが再生中に非表示になります。

同じメニューで “Show A/B References” を再度有効にすれば、いつでも表示できます。

使用例

A/B References は次の比較に役立ちます。

- ボーカルのレベル
- ベースのレベル
- キックとベースのバランス
- 高域の明るさ
- ステレオ幅
- リバーブ量
- サビのインパクト
- アレンジの密度
- 全体のダイナミクス
- 全体の音色バランス
- 同一プロジェクト内の複数曲の一貫性

この機能により、より具体的なノートを作成できます。たとえば、単に “ミックスにインパクトが足りない” という代わりに、リファレンスと比較して次のように録音できます。

- “サビの幅がリファレンスより狭い。”
- “ベースがリファレンスより前に出すぎている。”
- “ボーカルが前のバージョンより後ろに聞こえる。”

アルバムバージョンの比較

A/B References は、アルバム全体のバージョン比較にも非常に便利です。

たとえば、2か月前のアルバムバージョンをリファレンスとして作成し、現在のバージョンと比較できます。

この方法で確認できること:

- 変更が正しい方向に進んでいるか
- 特定の曲がインパクトを得たか失ったか
- アルバム全体のバランスが改善したか
- 曲間の音の一貫性が保たれているか
- 改訂の過程で重要な要素が失われていないか

長い制作、ミキシング、マスタリングの段階では、プロジェクトの変化を客観的に見るのが難しくなります。この方法はそのような場合に特に有効です。

A/B References は、曖昧な印象を DAW で処理可能なコメントに変え、同時にプロジェクトの時間的な変化を明確に把握する助けになります。

6. DawNote プラグインマニュアル

6.1 DawNote プラグインとは？

DawNote プラグインは VST3 および Audio Unit 形式で利用できます。

対応 DAW 内で直接動作し、DawNote のモバイルワークフローを音楽制作セッションへ接続するために設計されています。

プラグインでは、DAW 環境内で同期ボイスノートを受信、プレビュー、ドラッグできます。

6.2 対応プラグイン形式

DawNote は次の形式に対応しています。

- VST3
- Audio Unit

VST2 形式は含まれません。

Pro Tools 用 AAX サポートは開発中です。

Pro Tools では現在 DawNote Studio を使用してください。

6.3 DAW にプラグインを読み込む

DAW を開き、トラックに DawNote プラグインを挿入します。

DawNote 専用トラックを使用できます。

推奨設定:

1. オーディオトラックまたはインストゥルメントトラックを作成します。
2. “DawNote” または “Mix Notes” という名前にします。
3. DawNote プラグインを挿入します。
4. モバイルアプリからノートを受信して管理するために使用します。

別の方法として、DawNote をセッションのマスターバスに直接挿入できます。

この構成では、ノートのプレビュー再生時にクロスフェードシステムがミックス全体のレベルを自動的に下げ、ボイスノートを再生し、ノート終了後にミックスレベルを徐々に通常へ戻します。

これにより、セッション音量を手動で調整せずに、ボイスコメントを明瞭に聴けます。

正確な手順は使用する DAW によって異なります。

6.4 モバイルアプリからノートを受信する

ミックスまたはオーディオファイルをモバイルアプリへ送信するには、DawNote Studio を使用します。

コンピューターとモバイルアプリの転送方法については、本マニュアルの “DawNote Studio” セクションを参照してください。

プラグインの役割は、DawNote Mobile で録音された同期ボイスノートを受信し、DAW ワークフローへ統合することです。

電話とコンピューターが同じローカル Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。

モバイルアプリからノートを返送すると、プラグインはそれらを受信し、プレビューし、DAW セッションへの統合に備えます。

6.5 pre-roll と crossfade によるプレビュー

プラグインでは、ノートを文脈の中でプレビューできます。

pre-roll は、ノートの直前に何が起きていたかを聴くための機能です。

crossfade は、プレビューをより自然で急激でないものにします。

録音した瞬間に何が反応を引き起こしたのかを正確に理解するのに役立ちます。

プラグインをマスターバスに挿入している場合、クロスフェードシステムはボイスノート再生中にミックスレベルを一時的に下げることができます。これにより、音楽的文脈を失わずにノートを明瞭に聴けます。

6.6 ノートを DAW のタイムラインへドラッグする

ノートを受信し確認したら、DAW へドラッグできます。

DawNote は、ノートをタイムラインへ配置できる同期オーディオとして提供できます。

実用的なワークフローとして、DAW に “DawNote Notes” という専用オーディオトラックを作成し、そこへノートをドラッグします。

その後、曲を再生すると、適切なタイミングで自分のボイスコメントを聴けます。

7. DawNote Studio と DawNote Plugin の INBOX

INBOX セクションは、モバイルアプリから送信されたノートが到着する場所です。

INBOX で受信したノートは、すでに同期された WAV ファイルとして準備されており、DAW へドラッグする準備ができています。

各 WAV ファイルには、セッション内のオーディオトラック上でマイク録音したかのように、正しい位置に配置されたボイスノートが含まれます。

INBOX の目的はシンプルです。

- モバイルから送信されたノートを受信する
- すばやく見つける
- プロジェクト、ユーザー、日付、タイムコード、タグでフィルターする
- プラグインでプレビューする
- DAW へドラッグする
- すでに使用したノートを追跡する

7.1 同期 WAV ファイルとして受信されるノート

DawNote Mobile からコンピューターへノートが送信されると、DawNote Studio または DawNote プラグインはそれらを WAV ファイルとして自動的に準備します。

これらのファイルは曲のタイムラインとすでに同期されています。

つまり、各ノートを手作業で置き直す必要はありません。

ファイルを DAW へドラッグすると、ボイスノートは曲の正しい位置に現れます。

その後、通常のオーディオトラックとしてノートを聴けます。

- セッションを再生する
- トラックをミュートまたはミュート解除する
- ソロを使用する
- 必要に応じてノートを移動または編集する
- ノートが重なる場合は手動で分割する

7.2 INBOX のノートをフィルターする

DAW へノートドラッグする前に、現在のプロジェクトに対応するノートだけが表示されるよう INBOX をフィルターすることを推奨します。

そのためには、INBOX 上部の検索バーにプロジェクト名を入力します。

検索バーでは、次のような複数の基準でノートを分類して見つけられます。

- プロジェクト名
- 曲名
- ノートを取ったユーザー名
- タイムコードまたは時間位置
- 日付
- “ today ” という単語
- プロジェクトまたはノートに関連付けられたタグ

たとえば、次を入力できます。

- 曲名
- 共同作業者の名前
- 今日受信したノートを表示するための “ today ”
- “ Forest ”、“ Studio ”、“ Client ”、“ Urgent ”などのタグ

検索バーにより、複数のプロジェクト、複数のユーザー、または複数のレビューセッションが INBOX に存在していても、ノートを素早く整理できます。

7.3 検索でタグを使用する

Edit Tags セクションで作成したタグは、特定のノートを見つけやすくするために使用できます。

たとえば、緑色に “ Forest ” タグを関連付け、森でノートを取るプロジェクトにその色を使用した場合、対応するノートは INBOX で “ Forest ” を検索することで見つけられます。

この仕組みにより、プロジェクト名だけでなく、作業文脈によってノートを探せます。

便利なタグの例:

- Forest
- Studio
- Car
- Client
- Urgent
- Ideas
- Mix
- Master
- Album

タグは、DawNote を複数の状況で使用する場合、または多くのプロジェクトから大量のノートを受信する場合に特に便利です。

7.4 プラグイン内の保存された検索

DawNote プラグインでは、INBOX の検索内容が保存されます。

つまり、INBOX を曲名またはプロジェクト名でフィルターすると、プラグインはその検索を保持します。

その後、その検索条件に一致する新しいノートは、自動的にプラグインに表示され、手動で再度フィルターする必要はありません。

例:

1. DAW セッションに DawNote プラグインを挿入します。

2. 検索バーに曲名を入力します。
3. プラグインはその曲に対応するノートだけを表示します。
4. 作業を続けます。
5. 同じ曲に対する新しいノートがモバイルから送信されると、自動的にプラグインに表示されます。

この機能は、DAW セッションにプラグインを読み込んだまま、複数回のレビューを行う場合に有効です。

7.5 プラグインでノートをプレビューする

DawNote プラグインでは、受信したノートを直接プレビューできます。

プレビューにより、ノートを DAW ヘッドラッグする前に内容を素早く確認できます。

確認できること:

- 何が言われているか
- そのノートが現在のプロジェクトに関係しているか
- セッションに有用か
- タイムラインへ統合すべきか
- 無視するか、後で処理するか

複数のノートを受信した場合や、複数の共同作業からフィードバックが届いた場合、プラグイン内のプレビューは特に有効です。

7.6 ノートを DAW ヘッドラッグする

DAW でノートを使用するには、INBOX から WAV ファイルをセッション内の曲の開始位置ヘッドラッグします。

ファイルは実際の song の開始位置、つまり曲の音楽的な開始点に置く必要があります。

多くの DAW では、song の開始位置は表示されている最初の小節と必ずしも一致しません。空のイントロ、カウントイン、準備領域、または曲の前の余白が存在することがあります。

正しい配置は重要です。ノートは WAV ファイル内ですでに同期されているため、正しい開始点に置かなければ、ノートは正しい位置に来ません。

推奨ワークフロー:

1. INBOX をプロジェクト名または曲名でフィルターします。
2. 対象プロジェクトのノートだけが表示されていることを確認します。
3. INBOX から WAV ファイルを DAW のオーディオトラックヘッドラッグします。
4. 実際の song の開始位置にドロップします。
5. セッションを再生してノートが正しいタイミングで鳴ることを確認します。
6. 必要に応じてミュートまたはソロを使用します。

専用トラックの作成を推奨します。例:

- DawNote Notes
- Mix Notes
- Voice Notes
- Revision Notes

このトラックが、同期されたコメント用トラックになります。

7.7 重なったノート

同じ曲内の同じ位置、または近い位置に複数のノートが取られ、それらが重なる場合、DawNote は複数のオーディオトラックを分けて準備します。

これらのトラックはまとめて DAW ヘッドラッグできます。

これにより、複数のボイスコメントが1つのトラック上で重なってしまうことを避け、手動で分離しやすくなります。

この状況は次の場合に起こります。

- 複数のノートが非常に近いタイミングで取られた
- 複数の共同作業者が曲の同じ位置でノートを取った
- 重要な箇所に複数のコメントが集中した
- 複数のフィードバックを別々に保持する必要がある

この場合、DawNote は DAW へ配置した後の再生がより明瞭になるようにファイルを準備します。

7.8 すでに使用したノート

プラグインからノートを DAW へドラッグすると、それらは使用済みとしてマークされます。

プラグインの INBOX では、使用済みのトラックが暗く表示されます。

これにより、どのノートがすでにセッションに統合され、どのノートがまだ処理待ちかを素早く確認できます。

大量のノートを受信した場合や、複数段階で作業する場合に便利です。

7.9 使用済みノートを隠す

漏斗アイコンをクリックすると、使用済みトラックを隠すことができます。

このフィルターは、DAW へすでにドラッグしたノートを隠し、処理すべき残りのノートだけを表示します。

進捗を追跡するのに役立ちます。

- 受信したノート
- フィルターされたノート
- DAW へドラッグしたノート
- すでに使用済みのノート
- まだ処理すべきノート

漏斗アイコンにより、ノート処理の現在位置を把握しやすくなります。

7.10 オーディオファイルの保存場所

DawNote が生成するオーディオファイルは、コンピューター上の専用フォルダーに保存されます。

このフォルダーには、DAW へドラッグ&ドロップするために準備された WAV ファイルが含まれます。

時間が経つと、すでにセッションへ統合したノートなど、不要になったファイルがこのフォルダーに残ることがあります。

そのため、ときどきこのフォルダーを空にすることを推奨します。

ノートフォルダーへアクセスし整理する方法については、ノート保存と Reveal Note Folder に関するセクションを参照してください。

8. Free 版と Pro 版

8.1 DawNote Free

DawNote Free は、完全なワークフローを使用できる機能版です。

含まれるもの:

- モバイルアプリ
- DawNote Studio
- VST3 プラグイン

- Audio Unit プラグイン
- モバイルからコンピューターへの転送
- 同期ボイスノート
- DAW へのドラッグ&ドロップワークフロー

Free 版の制限:

- 2 プロジェクト
- プロジェクトごとに 3 オーディオトラック
- トラックごとに 11 分
- 月 3 回のプロジェクト共有

これは Free 版のオーディオ制限内で、合計約 66 分のオーディオ容量に相当します。

DawNote Free は単なるデモではありません。プロジェクト制限はありますが、完全なワークフローを使用できます。

8.2 DawNote Pro

DawNote Pro は、定期的またはプロフェッショナルな使用のためにワークフローを拡張します。

Pro 版に含まれるもの:

- 最大 10 プロジェクト
- プロジェクトごとに最大 25 トラック
- トラック長は無制限
- Studio Stream
- A/B References
- 無制限のプロジェクト共有
- Queue
- 高度なプロジェクト管理

DawNote Pro は、複数の曲、長いプロジェクト、アルバム、クライアントセッション、複数のリファレンス、または定期的なレビューに取り組むユーザー向けに設計されています。

9. 対応 DAW

DawNote は、プラグインまたは DawNote Studio のスタンドアロンワークフローを通じて、多くの DAW と連携するように設計されています。

対応または予定されているワークフロー:

- Ableton Live
- Logic Pro
- FL Studio
- Cubase
- Nuendo
- REAPER
- Bitwig Studio
- Studio One
- Reason
- Digital Performer
- Cakewalk
- Maschine
- Samplitude
- Ardour

- MuLab
- Renoise
- GarageBand
- Mixcraft
- Waveform
- AAX サポート開発中の間は DawNote Studio 経由で Pro Tools

プラグイン対応は、各 DAW が受け入れる形式に依存します。

VST3 または Audio Unit に対応していない DAW では、可能であれば DawNote Studio とドラッグ&ドロップを使用してください。

使用中の DAW で問題が発生した場合、または DAW の新バージョンへの更新後に問題が発生した場合は、Support セクションを参照して問題をお知らせください。モバイルアプリのメニューから直接メールを送ることもできます。

10. 必要環境

10.1 コンピューター

DawNote Studio と DawNote のデスクトップコンポーネントは、macOS と Windows で利用できます。

一般的な構成:

- macOS 10.13 以降
- Windows 10 以降
- 64-bit システム
- 2 GHz 以上のプロセッサ推奨
- 最低 1 GB RAM
- モバイル転送用のローカル Wi-Fi ネットワーク

macOS 版は Intel と Apple Silicon システムに対応しています。

10.2 モバイル

DawNote Mobile は次のプラットフォームで利用できます。

- iOS
- Android

転送機能を使用するには、電話とコンピューターが同じローカル Wi-Fi ネットワークに接続されている必要があります。

11. トラブルシューティング

11.1 電話がコンピューターを見つけない

次の点を確認してください。

1. 電話とコンピューターが同じ Wi-Fi ネットワーク上にある必要があります。
2. ローカルネットワークをブロックする VPN がある場合は一時的に無効にします。
3. DawNote Studio またはプラグインが開いていることを確認します。
4. ファイアウォールが DawNote のローカルネットワーク通信を許可していることを確認します。
5. 両方のデバイスで DawNote を再起動します。
6. 電話の Wi-Fi を再起動します。
7. 利用できる場合は、手動 IP 接続を使用します。

一部のネットワークでは、デバイス間の直接通信がブロックされます。ゲストネットワーク、公共ネットワーク、ホテル、学校、オフィスなどで発生することがあります。

可能であれば、自宅またはスタジオのプライベートネットワークを使用してください。

固定 IP アドレスを使用する

一部のネットワーク環境では、自動検出が妨げられることがあります。その場合、DawNote Mobile を固定 IP アドレスへ直接接続するよう設定できます。

使用すべき正しい IP アドレスは、DawNote Studio の “SYNC” ページに表示されます。

この IP アドレスをモバイルアプリの同期設定に入力し、コンピューターとの直接接続を確立します。

この方法は、複雑なネットワークや強く保護されたネットワークでの検出または接続の問題を解決する助けになります。

モバイルアプリから新しい同期を強制する

モバイルアプリでは、画面左下の “SYNC” ボタンをダブルクリックできます。

アプリが接続されていない場合、このダブルクリックにより同期手順が再実行されます。接続用 PIN キーボードが再表示されたり、DawNote Studio への接続試行が自動的に再開されたりします。

アプリが接続されている場合、同じ “SYNC” のダブルクリックでコンピューター上の DawNote Studio ウィンドウを制御できます。現在の状態に応じて、DawNote Studio を Tray へ隠す、または再表示できます。

この機能は、DawNote Studio がすでにバックグラウンドで動作しており、モバイルデバイスから素早く隠すまたは表示したい場合に便利です。

ファイアウォールとネットワークポート

DawNote は、モバイルアプリとコンピューター間の通信にポート 55442 を使用します。

電話とコンピューターが互いを検出しない場合、または転送に失敗する場合は、ファイアウォールがローカルネットワーク上でポート 55442 による DawNote の通信を許可しているか確認してください。

確認項目:

1. システムファイアウォールで DawNote Studio と DawNote プラグインを許可する。
2. ポート 55442 がセキュリティ規則でブロックされていないことを確認する。
3. ネットワーク保護付きのウイルス対策ソフトを使用している場合、その設定でも DawNote を許可する。
4. 企業や業務用ネットワークでは、ポート 55442 がローカル通信に許可されているか確認する。
5. ファイアウォール規則を変更した後、必要に応じて DawNote を再起動する。

ほとんどの家庭用ネットワークでは、システムファイアウォールで DawNote が許可されていれば追加設定は不要です。

11.2 転送が遅い、または不安定

ローカル Wi-Fi の品質は、転送速度に直接影響します。

次を試してください。

1. Wi-Fi ルーターに近づきます。
2. 利用可能なら 5 GHz Wi-Fi を使用します。
3. ゲストネットワークを避けます。
4. 大きなネットワーク負荷のある作業を閉じます。
5. ネットワークが不安定な場合、ルーターを再起動します。
6. 可能であればシンプルなネットワーク構成を使用します。

大きなオーディオファイルは転送に時間がかかります。

11.3 ノートがコンピューターに表示されない

次を確認してください。

1. 正しいプロジェクトが開かれている。
2. DawNote Studio またはプラグインが起動している。
3. モバイルアプリからの転送が完了している。
4. 2つのデバイスが同じローカルネットワーク上にある。
5. Free 版の制限に達していない。
6. DawNote の最新バージョンを使用している。

必要に応じて DawNote Studio を閉じて再度開くか、プラグインを再読み込みしてください。

11.4 プラグインが DAW に表示されない

次を確認してください。

1. プラグインが正しくインストールされている。
2. DAW が VST3 または Audio Unit に対応している。
3. DAW が正しいプラグインフォルダーをスキャンしている。
4. インストール後に DAW を再起動した。
5. 必要に応じてプラグインの再スキャンを行った。
6. システムに合ったバージョンをインストールした。

Pro Tools では DawNote プラグインの AAX 版はまだ利用できません。DawNote Studio を使用してください。

11.5 Pro Tools がプラグインを読み込まない

AAX サポートは現在開発中です。

現在の Pro Tools ワークフローでは DawNote Studio を使用します。

推奨方法:

1. モバイルアプリでノートを録音します。
2. それらを DawNote Studio へ送信します。
3. 同期ノートオーディオを Pro Tools へドラッグします。

11.6 ドラッグ&ドロップが期待どおりに動作しない

次を試してください。

1. 同期されたノートオーディオをドラッグしていることを確認する。
2. DAW のオーディオトラックへドロップする。
3. タイムライン上の位置を確認する。
4. サンプルレートとセッション設定を確認する。
5. いったんファイルをデスクトップへドラッグしてから DAW へドラッグする。
6. プラグインからのドラッグ&ドロップが DAW によってブロックされる場合、DawNote Studio を使用する。

一部の DAW またはプラグイン形式ではドラッグ&ドロップが制限されることがあります。その場合、DawNote Studio が代替になります。

11.7 ノートはどこに保存されるか？

DawNote が受信したボイスノートは、コンピューター上の専用フォルダーに保存されます。

DawNote Studio からこのフォルダーへ直接アクセスできます。

1. “ INBOX ” メニューを開きます。
2. “ Reveal Note Folder ” 機能を選択します。

このコマンドにより、ローカルコンピューターに保存されたノートを含むフォルダーが開きます。

ディスク容量管理を容易にするため、DawNote Studio には古いノートを自動的に整理する機能もあります。

“ INBOX ” メニューから対応する機能を使用すると、15日以上前のノート削除できます。

これにより、制作ワークフローへ統合済みで不要になったファイルを削除しながら、ノートフォルダーを整理された状態に保てます。

12. 使用例

12.1 メロディとリズムのアイデア

DawNote は、歌う、鼻歌で示す、ビートボックスする、または声で表現できる音楽的アイデアを記録するためにも有用です。

言葉で説明する代わりに、別のミュージシャンへ伝えるように、アイデアをボイスノートとして直接演奏できます。

例:

- 新しいボーカルメロディ
- 歌ったベースライン
- 鼻歌で示したギターフレーズ
- 声で再現したドラムリズム
- カウンターメロディのアイデア
- サビ用のメロディ変化

ノートは曲と同期されているため、そのアイデアを試すべき場所を正確に見つけられます。

12.2 ミックスレビュー

ミックスを書き出し、スタジオから離れてヘッドホンまたは別のスピーカーで聴き、機能している点または機能していない点に気付くたびにボイスノートを録音します。

その後、ノートを DAW へ戻し、自分の同期されたコメントを聴きながらミックスを修正します。

12.3 アレンジレビュー

DawNote を使って、構成に関するコメントを記録します。

- イントロが長すぎる
- サビが十分に強くない
- ブリッジが空きすぎている
- ドロップが遅すぎる
- 終わりが長すぎる
- トランジションを作り直す必要がある

ノートは同期されているため、各コメントは正しい音楽的瞬間へ戻ります。

12.4 ミックスコメント

DawNote では、リスニング中にミックスに関するコメントを素早く記録できます。

例:

- ボーカルが大きすぎる
- スネアのインパクトが足りない
- ベースがキックを覆っている
- サビのリバーブが多すぎる
- 高域が攻撃的すぎる
- このセクションをもっとオートメーションする
- モノ互換性を確認する

コメントは、聞こえた正確な瞬間に関連付けられるため、スタジオに戻った後の修正が簡単になります。

12.5 クライアントまたは共同作業からのフィードバック

DawNote は、書かれたメモや散らばったメッセージよりも、フィードバックを明確に整理する助けになります。

“ どこかでボーカルが大きすぎる ” のような曖昧なコメントではなく、DawNote はコメントを正確な位置に結び付けます。

12.6 アルバムまたは複数曲の作業

DawNote Pro では、より多くのプロジェクトとトラックをプロジェクトごとに管理できます。

複数の曲、複数バージョン、リファレンス、クライアントセッション、または連続したレビューを扱う場合に便利です。

12.7 未完成の曲を完成させる

DawNote は、長い間未完成のまま残っている曲に特に役立ちます。

多くの曲は、悪いから放置されているものではありません。前進させるために、より良いトランジション、メロディのアイデア、よりシンプルなアレンジ、より整ったミックス、短いエンディング、または別の文脈での新しいリスニングが必要なだけです。

DawNote を使うと、スタジオから離れて、すぐに技術的な姿勢にならずに曲を聴けます。このよりリラックスした聴き方により、曲を止めている要素を見つけやすくなります。

そして、聴取を中断せずに重要なコメントを素早く録音できます。

- “ サビが短すぎる ”
- “ もっとシンプルなベースを試す ”
- “ ボーカルはもっと早く入るべき ”
- “ この部分は機能しているので変えない ”
- “ ブリッジでエネルギーが落ちる ”
- “ 冒頭のテーマで終わる ”

各コメントは曲の正しい位置に結び付けられるため、DAW に戻ったときには具体的な判断リストが得られます。

DawNote は、停滞していた曲を実際に完成へ向かうプロジェクトへ変える助けになります。

13. ノートの管理と再生

DawNote では、リスニング中に録音したボイスノートを見つけ、再生し、選択し、削除できます。

ノートは、それが作成されたプロジェクトおよび曲に関連付けられたままです。各ノートは時間位置を保持するため、録音された瞬間を正確に見つけられます。

13.1 ノートへアクセスする

モバイルアプリでは、録音されたノートは “ NOTES ” セクションからアクセスできます。

このセクションでは、現在のプロジェクトに関連するノートを見つけられます。

用途:

- リスニング中に録音したノートを再生する
- 歌ったり鼻歌で示した音楽アイデアを見つける
- ミックスコメントを確認する
- コンピューターへ送信する前にノートを確認する
- 一部のノートをモバイル上で参照として保持する

13.2 ノートを聴き直す

ノートを聴き直すには、リスト内のノートをクリックします。

DawNote は選択されたボイスノートを再生します。

この機能により、曲全体を再生したり、該当箇所を手動で探したりせずに、録音内容を素早く確認できます。

13.3 ノートを選択する

ノートは複数の方法で選択できます。

- 左または右へスワイプする
- 左右の矢印を使用する

これにより、コメントの再生や確認中に、ノート間を素早く移動できます。

13.4 ノートを削除する

ノートを削除するには、対象ノートを上または下へスワイプします。

この操作により、不要なノート、録音ミス、保存したくないコメントを素早く削除できます。

削除する前に、そのノートがプロジェクトに不要であることを確認してください。

13.5 pre-roll 付きでノートを聴く

ノートを長押しすると、pre-roll 付きの再生を開始できます。

pre-roll は、ノートが取られた瞬間の前にある数秒の音楽的文脈を聴くためのものです。

この機能は、なぜそのノートが録音されたのかを理解するために役立ちます。孤立したボイスノートだけを聴くのではなく、そのノートを引き起こした音楽部分を再び聴けます。

例:

- コメント直前のトランジションを確認する
- ミックスノート前のサビの入りを聴く
- 歌ったメロディアイデアの文脈を見つける
- 聴取時に何が問題だったかを正確に理解する

13.6 pre-roll の長さを調整する

pre-roll の長さは、“NOTES” のコンテキストメニュー内の高度なオプションで調整できます。

変更手順:

1. “NOTES” セクションを開きます。
2. “NOTES” のコンテキストメニューを開きます。
3. 高度なオプションへ移動します。
4. 希望する pre-roll の長さを設定します。

短い長さは素早い確認に向いています。長い長さはノート前の文脈をより多く聴くために使えます。

13.7 送信済みノートを参照として保持する

“SEND” セクションからコンピューターへノートを送信するとき、“Keep notes as references” オプションにより、送信済みノートをモバイル上に保持できます。

このオプションが有効な場合、送信済みノートはモバイルアプリで表示されたままですが、グレー表示になります。

これらのグレー表示ノートは、モバイル上のローカル参照としてのみ機能します。次のノート送信には含まれません。

この機能は、電話上にコメントの履歴を残しつつ、同じノートを何度もコンピューターへ送信しないために有用です。

まとめ:

- 送信済みノートをモバイル上に表示したままにできる
- それらはグレー表示される
- 参照として機能する
- 次回送信には含まれない
- 以前のコメントの履歴を保持できる

14. Send Notes to DAW

“SEND” セクションでは、モバイルアプリで録音したボイスノートをコンピューターへ送信できます。

これはモバイルでのリスニングとスタジオでの作業をつなぐ段階です。聴きながら取ったノートは DawNote Studio または DawNote プラグインへ転送され、DAW で使用できるようになります。

14.1 Send Notes to DAW の目的

“Send Notes to DAW” は、同期ボイスノートを電話からコンピューターへ転送するための機能です。

送信後、ノートは DawNote Studio または DawNote プラグインで使用できます。

ワークフローに応じて、次のことができます。

- DawNote Studio でノートを受信する
- DawNote プラグインで直接ノートを受信する
- プラグインでノートをプレビューする
- 同期ノートを DAW のタイムラインヘドラッグする
- セッション内にボイスコメント専用トラックを作る
- ミキシング、アレンジ、制作中の修正ガイドとしてノートを使用する

14.2 コンピューターへノートを送信する

ノートをコンピューターへ送信するには:

1. モバイルアプリで、ノートを含むプロジェクトを開きます。
2. “SEND” セクションへ移動します。
3. コンピューターが同じローカル Wi-Fi ネットワーク上で利用可能であることを確認します。
4. ノートをコンピューターへ送信する操作を選択します。
5. 転送の完了を待ちます。
6. 受信したノートを使用するために、DawNote Studio または DawNote プラグインを開きます。

ノートは元の時間位置を保持します。そのため、曲と同期した状態で DAW へ配置できます。

14.3 DawNote Studio での受信

モバイルアプリからノートが送信されると、DawNote Studio はコンピューター上でそれらを受信できます。

その後、そのノートを DAW で使用する準備ができます。

DawNote Studio が特に便利な場合:

- Pro Tools を使用している
- プラグインを読み込みたくない
- DAW が DawNote プラグインに対応していない
- スタンドアロンアプリでファイル管理したい
- 同期ノートを単純に DAW ヘドラッグしたい

14.4 DawNote プラグインでの受信

DAW に DawNote プラグインが読み込まれている場合、モバイルアプリから送信されたノートはプラグインで直接受信できます。

プラグインでは次が可能です。

- 受信したノートを見る
- 文脈内でプレビューする
- pre-roll を使用する
- ノート再生中に crossfade を利用する
- ノートを DAW のタイムラインヘドラッグする

DAW が VST3 または Audio Unit に対応している場合、プラグインは最も統合されたワークフローです。

14.5 ノートを参照として保持する

“ SEND ” セクションの “ Keep notes as references ” オプションにより、すでにコンピューターへ送信したノートをモバイル上に保持できます。

このオプションが有効な場合:

- 送信済みノートはモバイル上に表示されたままになる
- それらはグレー表示される
- ローカル参照としてのみ機能する
- 次回のノート送信では再送信されない

電話上にコメント履歴を残しつつ、同じノートを複数回送らないために便利です。

14.6 Queue (Pro)

Queue は DawNote Pro で利用できる機能です。

コンピューターへ送信するノートを事前に準備し、一時的に保存してから、まとめて送信できます。

複数のプロジェクト、複数の曲、または複数のノート群を扱う場合に特に便利です。

モバイル上で複数プロジェクトをレビューした場合、送信するノートの準備に時間がかかることがあります。Queue を使うと、作業を先に準備しておき、準備が整った時点でまとめてコンピューターへ送信できます。

14.7 なぜ Queue を使うのか？

Queue は時間を節約し、レビュー作業を整理するために役立ちます。

便利な状況:

- 複数のプロジェクトにノートを取った
- スタジオへ戻る前に複数の曲をレビューした
- すぐに転送を開始せずにノートを準備したい
- 複数のノートグループを1回で送信したい
- 各プロジェクトを個別に処理するのを避けたい
- どのプロジェクトがすでにレビュー済みかを見やすくしたい

Queue はプロジェクト一覧を把握することにも役立ちます。

プロジェクトに送信すべきノートが残っていない場合、そのプロジェクトは処理済み、または送信用に準備済みであると分かります。これにより、まだレビューまたは送信すべきプロジェクトを見つけやすくなります。

14.8 Queue の一般的なワークフロー

一般的なワークフロー:

1. 送信すべきノートを含むプロジェクトを開きます。
2. コンピューターへ送信するノートを準備します。
3. そのノートを Queue に追加します。
4. 必要に応じて他のプロジェクトでも同じ操作を繰り返します。
5. すべてのプロジェクトを準備したら Queue を開きます。
6. コンピューターへの一括送信を開始します。
7. 準備されたノートは DawNote Studio または DawNote プラグインへ転送されます。

Queue により、次の2つの段階に分けられます。

- 送信するノートの準備
- コンピューターへの実際の転送

この分離は、準備に時間がかかる場合、または転送前に複数プロジェクトを整理したい場合に有用です。

14.9 Queue とレビュー済みプロジェクト

Queue は、すでにレビュー済みのプロジェクトを識別する助けにもなります。

プロジェクトにアクティブな送信対象ノートがなくなると、そのプロジェクトがすでに処理済みであることを理解しやすくなります。

送信済みまたは参照として保持されたノートはモバイル上でグレー表示され、新しく送信するノートはアクティブなままです。

この区別により、次を素早く確認できます。

- まだ送信すべきノートを含むプロジェクト
- すでにレビュー済みのプロジェクト
- すぐに対応する必要がないプロジェクト
- 参照ノートだけを含むプロジェクト

14.10 Free と Pro

DawNote Free では、無料版の制限内でノートの直接送信を利用できます。

Queue 機能は DawNote Pro 専用です。

複数の曲、複数のプロジェクト、または大きなレビューセッションで DawNote を定期的を使用する場合、DawNote Pro を推奨します。

14.11 Export Notes for DAW (WAVs in ZIP)

“ Export Notes for DAW ” 機能では、同期されたすべてのノートを WAV ファイルとして含む ZIP ファイルをエクスポートまたは共有できます。

自分のコンピューター上の DawNote Studio または DawNote プラグインを直接使わずに、誰かへノートを渡したい場合に便利です。

ZIP には、すでに同期された WAV ファイルが含まれます。受け取った人は、それらを DAW の曲の開始位置ヘインポートまたはドラッグすることで、自分のセッション内で正しいタイミングにノートを聴けます。

典型的な使用例

友人、共同作業、またはクライアントからミックスを受け取り、意見を求められたとします。

そのミックスを DawNote に読み込み、聴きながら文脈に沿ってコメントを録音できます。

次のようなコメントリストを返す代わりに:

- “ 1:30 あたりでボーカルが大きすぎる ”

- “ サビのインパクトが足りない ”
- “ 2番の後のトランジションが変 ”
- “ 終わりを短くした方がよい ”

同期されたノート WAV を含む ZIP ファイルを送れます。

相手はそれらのファイルを DAW に置き、曲の正しい位置であなたのコメントを聴けます。

これにより、特にコメントが多い場合や修正箇所が多い場合に、タイミング説明の時間を失わず、文脈付きのノートを提供できます。

一般的なワークフロー

1. エクスポートするノートを含むプロジェクトを開きます。
2. “ SEND ” セクションへ移動します。
3. “ Export Notes for DAW ” 機能を選択します。
4. DawNote は同期 WAV を含む ZIP ファイルを準備します。
5. その ZIP ファイルを対象者と共有します。
6. 受け取った人は ZIP を自分のコンピュータで展開します。
7. WAV を DAW の曲の実際の開始位置へドラッグします。
8. ノートはセッション内の正しいタイミングで再生されます。

INBOX からのドラッグ&ドロップと同様、ノートを正しく同期させるには、実際の曲開始位置に配置する必要があります。

Send Notes to DAW との違い

“ Send Notes to DAW ” は、ノートを自分のコンピュータへ送り、DawNote Studio または DawNote プラグインで受信するために使います。

“ Export Notes for DAW ” は、誰かへ手動で送信または共有できる ZIP を作成するために使います。

2つの機能の音楽的目的は同じです。DAW に配置できる同期ボイスノートを提供することです。

主な違いは送信先です。

- “ Send Notes to DAW ” はノートを DawNote Studio またはプラグインへ送る。
- “ Export Notes for DAW ” は手動共有できる同期 WAV 入り ZIP を作成する。

Keep notes as references

“ Export Notes for DAW ” は “ Keep notes as references ” オプションに関して “ Send Notes to DAW ” と同じように動作します。

このオプションが有効な場合:

- エクスポート済みノートはモバイル上に表示されたままになる
- それらはグレー表示される
- ローカル参照として機能する
- 次回の送信またはエクスポートでは新しいノートとして再度含まれない

このオプションにより、電話上にノート履歴を残しながら、同じコメントを何度も再エクスポートしないようにできます。

15. プロジェクト共有

DawNote では、プロジェクトを他のユーザーと共有できます。

プロジェクト共有は、共同作業、クライアント、ミュージシャン、プロデューサー、エンジニアに曲を送り、相手が聴いて自分のノートを録音できるようにしたい場合に便利です。

目的は、音楽的なフィードバックを簡単にすることです。メール、メッセージ、テキスト文書でばらばらにコメントを受け取る代わりに、曲と同期されたボイスノートを受け取れます。

15.1 プロジェクト共有の目的

プロジェクト共有により、より正確なフィードバックを得るために DawNote プロジェクトを別の人へ送れます。

使用例:

- クライアントにミックスを送る
- 共同作業者に意見を求める
- 歌手に作業中バージョンを聴かせる
- プロデューサーからコメントを受ける
- 修正セッションを準備する
- 複数曲のフィードバックを整理する
- アルバムバージョンを確認用に共有する

各人はプロジェクトを聴き、曲内の瞬間に直接結び付いたボイスノートを録音できます。

15.2 パスワード付き共有

共有プロジェクトはパスワードで保護できます。

パスワードにより、プロジェクトへのアクセスを、あなたが情報を渡した人だけに制限できます。

一般的なワークフロー:

1. 共有するプロジェクトを開きます。
2. プロジェクト共有機能へ移動します。
3. パスワードを設定します。
4. 共有を作成します。
5. 共有情報を受信者へ送ります。
6. 必要に応じてパスワードを別のメッセージで伝えます。

受信者は、共有プロジェクトへアクセスするためにパスワードを使用する必要があります。

セキュリティのため、可能であれば共有リンクとパスワードは別々のメッセージで送ることを推奨します。

15.3 共有プロジェクトからフィードバックを受け取る

プロジェクトを共有すると、受信者は曲を聴き、ボイスノートを録音できます。

その後、そのノートは同期されたフィードバックとしてプロジェクト作成者へ返送できます。

これにより、次のような曖昧なコメントを避けられます。

- “真ん中あたりでボーカルが大きすぎる”
- “サビの後に問題がある”
- “終わりが好きではない”
- “トランジションがうまくいっていない”

DawNote では、各コメントが曲内の正確な位置に関連付けられます。

15.4 共有の制限

プロジェクト共有は DawNote Free と DawNote Pro で利用できます。

無料版では、月に最大3回のプロジェクト共有が許可されます。

DawNote Pro では、定期的なセッション、クライアントフィードバック、共同作業、複数曲を含むプロジェクトに適した拡張共有が可能です。

この機能は次の人たちに特に有用です。

- 複数のアーティストと作業するプロデューサー
- クライアントからフィードバックを受けるエンジニア
- リモートで作業する作曲家
- コメントを一元管理したいバンド
- 複数の連続バージョンを持つアルバムプロジェクト

15.5 他の人がプロジェクトを受け取る場合

他の人があなたの共有プロジェクトを受け取ると、その人はプロジェクトを聴き、同期ボイスノートを取ることができます。

ただし、トラックを書き出したり、元のプロジェクトを変更したりすることはできません。

プレイリストの横には、受信したプロジェクトがロックされていることを示す鍵アイコンが表示されます。

受信者ができること:

- プロジェクトを聴く
- ボイスノートを録音する
- ノート付きでプロジェクトを返送する

受信者ができないこと:

- 元のプロジェクトを変更する
- トラックを書き出す

16. FAQ

16.1 DawNote を使うにはプラグインが必要ですか？

いいえ。DawNote はプラグインなしでも DawNote Studio を使って利用できます。

プラグインは DAW 内での統合をより直接的にしますが、DawNote Studio でもノートを受信し、同期オーディオを DAW ヘッドラッグできます。

16.2 Pro Tools で使えますか？

はい。現在は DawNote Studio を使用することで Pro Tools で利用できます。

AAX プラグインは開発中です。AAX が利用できるまでは、DawNote Studio から同期ノート WAV を Pro Tools ヘッドラッグしてください。

16.3 ノートは自動で DAW の正しい位置に配置されますか？

ノートは WAV ファイル内で同期されています。DAW に配置する際、ファイルを曲の実際の開始位置に置けば、ノートは正しいタイミングで再生されます。

16.4 同じ Wi-Fi が必要ですか？

はい。モバイルとコンピューター間の直接転送には、通常、同じローカル Wi-Fi ネットワークが必要です。

ゲストネットワーク、VPN、企業ネットワーク、ホテルや学校のネットワークでは、デバイス間通信が制限される場合があります。

16.5 Free 版だけで実際に使えますか？

はい。DawNote Free は完全な基本ワークフローを含みます。モバイルアプリ、DawNote Studio、プラグイン、同期ノート、DAW へのドラッグ&ドロップを使用できます。

Free 版にはプロジェクト数、トラック数、トラック長、共有回数の制限があります。

16.6 Pro 版の利点は何ですか？

Pro 版では、より大きな容量、より長いプロジェクト、より多くのトラック、Studio Stream、A/B References、Queue、無制限の共有、高度な管理機能が利用できます。

複数の曲、クライアント作業、アルバム、頻繁なレビューに DawNote を使う場合に適しています。

16.7 ノートを削除できますか？

はい。モバイルアプリの NOTES セクションで、ノートをスワイプして削除できます。

すでにコンピューターへ送信済みのノートや、DAW セッションに統合したファイルについては、ローカル保存フォルダーの整理も必要になる場合があります。

16.8 ノートを聴き直せますか？

はい。NOTES セクションでノートを選択すると再生できます。長押しにより pre-roll 付きで、直前の音楽的文脈を聴くこともできます。

16.9 共有されたプロジェクトを受け取った人は何ができますか？

受信者は共有プロジェクトを聴き、同期ボイスノートを録音し、フィードバックとして送り返すことができます。

元のプロジェクトを変更したり、トラックを書き出したりすることはできません。

16.10 ノートの保管フォルダーを整理する必要がありますか？

はい。時間が経つと、受信した WAV ファイルが保存フォルダーに残ることがあります。DawNote Studio の “ Reveal Note Folder ” と、古いノートを削除する整理機能を使用して管理してください。

17. 推奨ワークフローのまとめ

DawNote の推奨ワークフローは次の通りです。

1. DAW からミックスまたは作業中バージョンを書き出します。
2. DawNote Studio でそのファイルを電話へ送信します。
3. 電話で曲を聴きます。
4. 聴きながら、修正点、反応、アイデア、メロディ、リズム、または制作上の判断をボイスノートとして録音します。
5. ノートをコンピューターへ送り返します。
6. DawNote Studio または DawNote プラグインでノートを受信します。
7. 同期 WAV を DAW の曲の開始位置へドラッグします。
8. コメントを正しいタイミングで聴きながら曲を修正します。

DawNote は、音楽的フィードバックで最も重要な要素を保持するように設計されています。それは、何かを聞いた正確な瞬間です。

18. サポート

DawNote、DawNote Studio、DawNote プラグインで問題が発生した場合、または製品の使い方について質問がある場合は、FKFX Audio サポートへお問い合わせください。

サポートメール:

support@fkfxaudio.com

サポートへ連絡する前に、可能であれば次の情報を含めてください。

- 使用しているオペレーティングシステム
- DawNote のバージョン
- プラグインに関する問題の場合、使用している DAW とそのバージョン
- 使用形式: VST3、Audio Unit、または DawNote Studio
- モバイルデバイスのモデル
- 問題の正確な説明
- 問題を再現するための手順
- 役立つ場合はスクリーンショット

これらの情報により、状況をより早く理解し、より効果的にサポートできます。